

# 倉敷チボリ公園で行われていた 公益活動の事業化

～ 倉敷チボリ公園の閉園後、私たちにできること ～



2008年12月26日

1

## 団体設立にいたる想い

- カルチャー教室の存在が、人々の命・人生とつながっていることを日々実感している。  
駅前から離れるとカルチャー教室に通えない人も。その人たちをなんとかできないか。  
…………… ファミリー・サポート、子供の健全育成の場、市民生活の息抜き・生きがい場の創出
- 県内外からリピーターも多く定着している子供向けの体験教室の活動を残せないか。  
…………… 宿題応援団、チルドレンズ・アート・プロジェクト、スペシャル・ワークショップ
- 閉園・会社清算で、チボリが著作権を持つ優れたソフトが埋もれるのを防ぎたい。  
…………… オリジナルミュージカルの「マインド」の継承と、市民に親しまれてきた物語の活用
- チボリ閉園後の倉敷駅前のまちづくりに関わり、この場所の変化を見守りたい。  
…………… 中心市街地の活性化に関わる市民活動の推進
- 親子関係のほころびから起こる重大事件が多発し、他人事と思えなくなってきた。  
…………… 子供の虐待死、安易な殺人事件、学級崩壊、モンスターペアレント

3

## はじめに

チボリの11年間の活動を支えてきたのは公益性ゆえの行政からの「支援」です。

では、「チボリの公益性」とは何を指すのでしょうか。

広域から多くの観光客を呼び込むことも公益性ですが、それだけではありません。

まず、緑豊かな自然と四季を通じて咲き乱れる花による憩いの空間であり、本物の感動に出会う機会を県内・県外の子供たちに提供してきたことがあげられます。

また皮肉なことではありますが「官でもなく民でもない」という立場は

「行政と民間」の緩衝材となり、県内外の様々な立場の人が集い、

新しいアイデアを開花させていく場として機能していたと言えます。

設立経緯から、身体に合わない重荷を背負って10年余りを歩んできた

「チボリ・ジャパン株式会社」が清算の日を迎えるにあたり、

まちづくりに活かすことのできる「倉敷チボリ公園の公益性」を継承する

受け皿を作りたいと、今回、私たちの活動をスタートさせました。

2

## チボリの公益活動とは…

### 広域から多くの観光客を呼び込むこと

(だけじゃない) **+**

- ① 緑豊かな自然と四季の花による憩いの空間
- ② 本物の感動に出会う機会を子供たちに提供
- ③ 行政と民間の緩衝材として新しいアイデアや市民の思いを実現する場

4

## 宿題★応援団、スペシャル・ワークショップ

毎年夏休みに実施して、県外からのリピーターも多い「宿題★応援団」や、季節ごとのスペシャル・ワークショップは、地元のものづくりの専門家による体験教室。

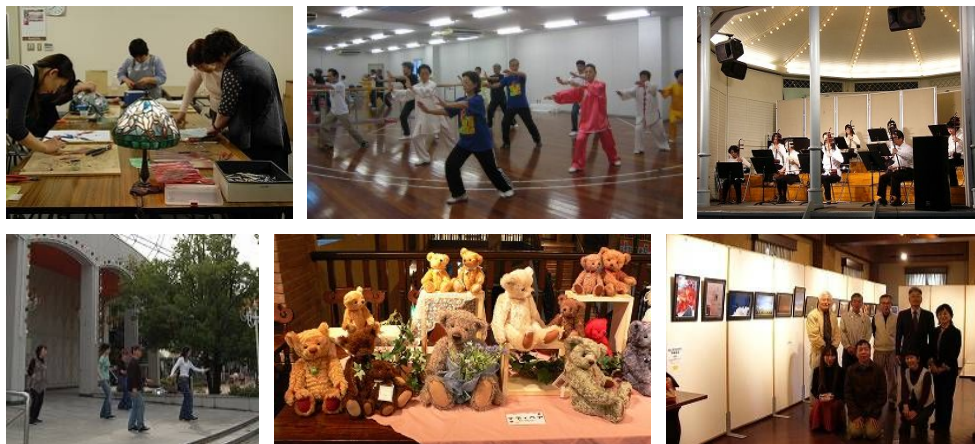
ものづくりを通じて、子供の健全育成を図るだけでなく、大人から幼児までをカバーするコミュニケーションの場として機能しています。



## カルチャー倶楽部

山陽新聞社とのコラボレーションで、2002年からスタートしたカルチャー教室。教室の中だけでなく、さまざまな機会に発表の場を設け、市民活動を支援しました。

活動の様子は、公式ブログ「カルチャー倶楽部通信」でご覧いただけます。



## チルドレンズ・アート・プロジェクト

地元大学とのコラボレーションによって実現した、子供たちのための「アートプロジェクト」。子供の知的好奇心に応える取り組みを目指しています。

■倉敷芸術科学大学 Vol.1/ Vol.2 多面体研究「ハンバー・ハッキー・ボール」



■くらしき作陽大学・作陽短期大学 Vol.3 音楽実験室「森と水の探検隊」



## チボリ・オリジナル コンテンツ

10周年事業として2007年に再演されたファミリーミュージカル「ハンスの冒険」は、倉敷チボリ公園を訪れる子供たちのために、脚本・音楽・衣装・キャラクター設定などすべてオリジナルで制作された、「日本発・倉敷ブランド」のライブエンターテインメントです。



## 活動する目的

岡山県内外の多くの子どもたちの夢を育み、  
 県民の憩いの場であった倉敷チボリ公園の公益性の一部を継承し、  
 子供の健全育成と、市民の生きがいの創出を図り、  
 市街地の活性化に寄与するため、子供及び一般市民に対する  
 「ものづくり」「本物体験」及び「コミュニケーション能力の向上」  
 並びに「中心市街地の活性化」「環境の保全」のための事業と  
 その事業に付帯または関連する事業及び情報提供を行う。

= 微力ながら、チボリ開園後の倉敷の街を、明るく元気にしたいと思っています =

## 意図する結果(最初の3年間の目標)

- 駅前の施設を利用した子育て支援、市民の生きがいの場となるカルチャー教室の実施
- 子供の健全育成、男女共同参画社会の形成促進を図るイベント・体験教室の実施
- チボリの開園当初のソフトの「マインド」の継承。絵本や WEB コンテンツなどの制作



## 2008-2009 年度 実施計画

 <p><b>宿題★応援団</b> 夏休みの子供たちの工作を応援する体験教室。 地元のものづくりの専門家に学びます。 ・ステンドグラス ・備前焼の木の葉皿 ・モザイク ・リーフプリント ・ボンボンヘア など ■時期:夏休み</p>	 <p><b>手づくりクラブ ガーデンクラブ</b> 春と秋を中心とした一回完結のおしゃれな講座。 親子で参加できるものから、本格的な作品が一日で完成する講座まで、内容はさまざまです。 講座を発展させたデモンストレーションや、シリーズ作品など、より高度なスキルも学べます。 ■時期 春・秋</p>	 <p><b>カルチャークラブ</b> 倉敷の実力派講師陣によるカルチャー教室 健やかな毎日のために、明るく楽しい講座作りを目指しています。 ■時期 2009年1月～</p>	 <p>チルドレンズアートプロジェクト <b>C・A・P</b> 少し背伸びして大学の先生やお兄さん・お姉さんと学ぶ「チルドレンズ・アート・プロジェクト」。 ■時期 不定期</p>
<p><b>WEB 上での展開</b> あなたの近くで始まる新しい冒険の旅。かわいい人形たちが倉敷の街を探検、街で起こりつつあることや、活動する人たちをブログで紹介していきます。 ■時期 2009年3月～</p>			



## 駅の近くをもっと元気に。私たちはチカクです。

私たち、『チカク』は、チボリのカルチャークラブから生まれた駅の近(ちか)くの新しいカルチャークラブです。目に見えるものは形を変えても、倉敷チボリ公園が育ててきた精神の、ちいさな核(かく)は残せるはず。そんな思いで動き始め、2009年1月から、非営利型の一般社団法人としての活動をスタートしました。

メール: [ekinotikaku@everynet.jp](mailto:ekinotikaku@everynet.jp) 電話 080-2900-8110  
 ファクス/ボイスメール: 050-3488-4116 (3分の伝言をお預かりできます)  
 ブログ: <http://www.ilovit.seesaa.net/> ホームページ: <http://www.ekinotikaku.com/>